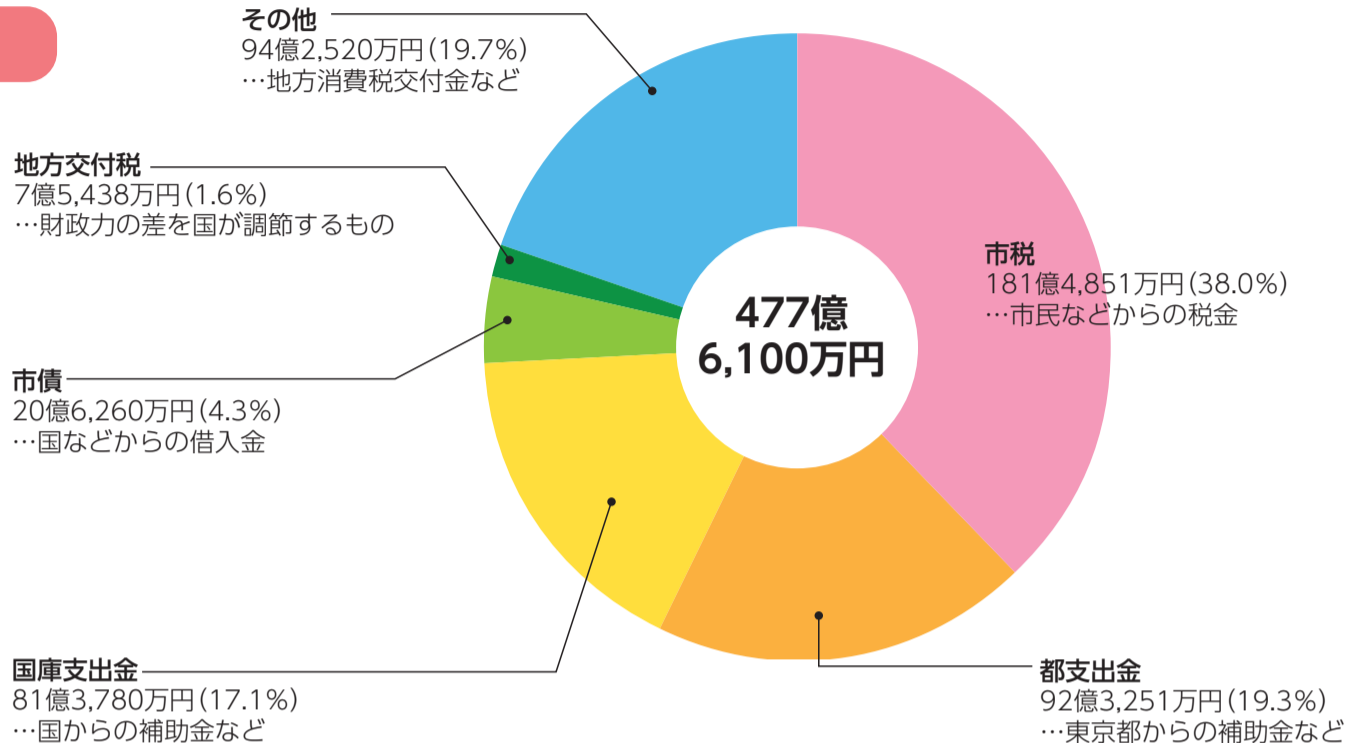


# 令和8年度 一般会計 477億6,100万円

## 歳入



## 令和8年度 当初予算に対する討論

### 賛成

川村議員

稲志会

令和8年度予算を審議するに当たり、第五次稲城市長期総合計画後期基本計画の確かなスタート、デジタル技術を手段とした機動的な行政運営、そして身の丈に合った経営による病院の再生といった点から検証した。

一般会計予算案は、前年度比3.7%増と過去最大規模を更新し、社会情勢の変化に機動的かつ着実に対応する編成となった。市税収入は、およそ181億4,851万円を見込む一方、ふるさと納税による、実質額2億円もの税収流出という看過できない課題があるが、これに対し市は、ゼロシーリングの原則に基づき、事務事業の有効性を厳格に検証、国民健康保険税率などの改定による歳入増の確保や事務事業評価方法の見直し、障害者手当の適正化などを断行し、聖域なき行財政改革によって必要な財源を捻出している。厳しい社会情勢を的確に捉え、市の未来への責任を果たす内容となっており、高橋市長のリーダーシップの下、適正かつ効果的に執行されることを強く期待し、賛成する。

### 賛成

渡辺議員

新政会

令和8年度一般会計予算は、第五次稲城市長期総合計画の後期5か年の初年度という重要な位置づけにある中、近年の社会経済情勢などの変化を的確に捉えつつ、多様化する市民ニーズにおける課題に対して機動的に取り組んでいく強い決意が示された予算である。歳入予算の状況を見ると、一般財源の根幹をなす市税は、令和7年度当初予算と比較して6億5,035万5,000円増の181億4,851万4,000円が計上されている。これは、これまで市が計画的に進めてきた都市基盤整備の取り組みが着実に実を結び、歳入として具体的な成果となって現れているものであると評価する。

今後も、更なる市の魅力と活力の向上を図るため、市民の交流、生活を支える多様な都市機能を有する交通の利便性を生かした機能性の高いまちづくりに邁進していただくことを期待し、賛成する。

### 賛成

佐藤議員

公明党

令和8年度の一般会計予算は、歳入歳出ともに総額477億6,100万円、前年度比3.7%の増となっている。また、義務的経費についても6.2%の増となり、歳出総額に占める割合は、前年度から1.2ポイント増加し、52%となっている。社会保障関係費などの増加により、厳しい財政環境の中にあいながらも、本予算が中長期的な財政運営にも配慮しつつ、必要な施策を着実に推進するための堅実な編成となっている。

本予算は、各施策において、市民一人一人の安心と希望を支えるとともに、子供たちの学びと成長を育む教育の充実など、未来への投資を着実に進めるものであり、かつ持続可能な稲城市の発展に資するものと高く評価し、賛成する。

### 反対

山岸議員

日本共産党

令和8年度一般会計予算は、歳入歳出ともに477億6,100万円、令和7年度よりも17億円増額し、過去最大の規模となっている。市民の暮らしと福祉の向上、子育てや教育の支援の充実を求め、予算案を審査した。

令和8年度予算案について、第1に、土木・開発関連への過大な支出、開発型予算の見直しが必要である。第2に、開発型予算の中心にある南山東部土地区画整理事業については反対する。第3に、国民健康保険税および後期高齢者医療保険料の値上げについて、物価高が止まらず、家計が苦しい中で、保険税や保険料の値上げは、さらに暮らしの負担となる。本予算案には、日本共産党市議団として求めてきた前進面としての事業も盛り込まれているが、予算全体が開発中心の予算という点、そして市民の負担増となる点について、市民の暮らしと福祉、教育と子育てを支える地方自治体本来の役割を果たすには不十分であると考え、反対する。

### 賛成

榎本議員

改革未来の会

本予算は、社会経済情勢の変化や物価高騰への対応、少子高齢化の進展など、多様化・複雑化する行政課題に対し、市民生活を支える施策を着実に推進するとともに、将来を見据えた取り組みを進めるものとして編成されており、一定の評価をする。

本市がこれまでの住宅都市としての発展に加え、地域経済の活力を高めながら、持続可能な自治体経営を実現し、次の世代へと確かな形で引き継いでいくことを期待するとともに、こうした変化の時代においてこそ、施策の効果を的確に検証し、必要な見直しを行いながら責任あるかじ取りを行っていく市の覚悟が問われる。あわせて、私ども議会においても、市民の暮らしと子どもたちの未来を見据え、提案と検証を重ねながらその責任を果たしていく決意を持ち、本予算に賛成する。